

山形県青年の家より隔月発行でお知らせしています

R2. 6・7月号



山青の風

発行日 令和2年7月31日
発行 山形県青年の家
〒994-0032
天童市小路一丁目7-8
TEL 023(654)4545
FAX 023(652)2007

新型コロナウイルスに負けるな！

今年も地域青少年ボランティア活動を推進します！！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う本所の対応 第2報

■ 山形県青年の家では新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5月12日(火)から日帰り短時間利用のみを受け付けておりました。その後、県教育委員会からの通達を受け、県立学校において県内における「3密」対策を徹底しながらの「宿泊を伴う学校行事及び校内学習」が認められたため、6月2日(火)から館内泊の利用を部分的に再開しました。また、社会体育(体育館利用)についても、6月19日(金)から利用を再開し、徐々に利用団体が増えてきたところです。なお、利用者の皆様には「新しい生活様式」に対応した利用をお願いすることとなります。皆が安心して利用できるように御協力よろしくお願いたします。

■ 6・7月に実施予定であった以下の事業・会議は、中止または延期になりました。

- 6月 3日(水) TATプロジェクト①→11/10(火)に延期予定
- 6月 9日(火) 社会教育主事講習県内研修(～10日)→中止
- 6月17日(水) TATプロジェクト②→11/25(水)に延期予定
- 7月 4日(土) 家庭教育支援研修会①→8/2(日)に延期
- 7月18日(土) 夏の体験ボランティア(～9/22)→中止
- 7月29日(水) 夏休み学習ボランティア(～30日)→冬休みに延期予定



令和2年度 ボランティア関係者研修会

■ 7月29日(水)に公民館職員、青少年ボランティアサークル担当者、社会福祉協議会ボランティア担当者が一堂に会し、今年度初の本所主催事業「ボランティア関係者研修会」を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、例年と異なる内容で開催することになりましたが、県内各市町村から11名の関係者の皆さんが参加しました(当初申し込みは17名)。

午前の部は「実習(だがしや楽校等で使える個人工作の手法)」を行い、各々「恐竜の卵」・「ぶんぶん駒」・「紙ブーメラン」・「ホバークラフト」の製作に励みました。その後、体育館に場所を移して製作物の試技を行い、自作して実演することの楽しさと難しさをひしひしと肌で感じ取りました。

午後の部は、県教育庁生涯教育・学習振興課八柳生涯学習主査から「山形県の地域青少年ボランティア活動」について説明いただき、「YYボランティア」の活動に関する歴史と広まりについて学びを深めました。その後、「先輩職員からのメッセージ(事例発表)」として、大江町教育委員会教育文化課の山家雄志さん、金山町教育委員会教学課の堀実玖さんから、実際の業務の苦労話なども交えた報告があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。研修会の締め括りとして、「自分がやってみようボランティア活動を企画してみよう！」というテーマのもと、各市町村の実態に落とし込んだ活動を企画するワークショップを感染防止策をとって行いました。それぞれの企画に対して忌憚のないコメントを出し合い、企画立案のプロセスについて大いに学び合うことができました。

今回はコロナ禍の真っ只中ではありますが、ボランティアに関わる関係者の皆さんのひたむきな姿勢を垣間見ることができました。また、普段の業務において不安な点を共有し、意見交換できたことは、非常に大きな収穫でした。



ご存じですか？ Y Yボランティア

■ 山形県内には、各市町村や地域の方々によって運営され、地元の青少年が学校の枠を超えて集まるボランティアサークルが数多く存在しています。その中には40年以上継続して活動している団体もあります。このような地域主体のボランティアの在り方は全国では珍しく、「山形方式」と呼ばれ高い評価を受けています。この「山形方式」ボランティアを山形の「Y」ヤングの「Y」に賑やかな様子をかけて「YYボランティア」と呼んでいます（YYボランティアビューローHP「Yボラについて」から転載）。

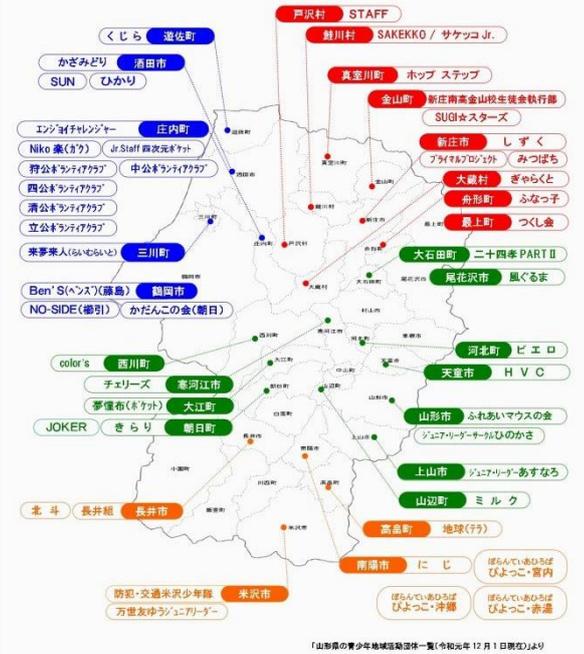
学校単位としてではなく、学校枠を超えて地域単位の活動として行われており、より自律性の高い活動として発展しています。各市町村の公民館等を活動拠点として、企画・準備から運営まで自分たちが「やりたいこと」をじっくり話し合って活動を進めています。

2019（令和元）年12月の調査によると、活動しているサークルは48団体、907名（小・中・高生・大学生等・勤労青年の合計）に上ります。

ボランティアサークルの活動詳細などについては、右のQRコードからYYボランティアビューローHPにアクセスください。



山形県地域青少年 ボランティアサークル2019



本所緑地整備を行いました

■ 例年にも増して小雪・暖冬であったため、春先から青年の家がある舞鶴山周辺も、あっという間に緑一色に覆われました。そのため、5月27日（水）に本所の緑地整備を行いました。膝丈近くまで伸びた草木の刈り取り、花壇の整備などを行い、来るべく本格的な使用再開に向けて準備が整いました。キレイになった青年の家で皆さまの来所をお待ちしております。



キミガヨランの花が咲きました

■ 本所北西側の植え込みにあるキミガヨランが6月初旬に花を咲かせました。白く可憐な花を咲かせるこの植物は、葉が上に伸び伸びと茂る様子から「青年の木」とも呼ばれ、青年の家に因んで植栽されたものと推測されます。また、開所10周年記念植樹で植えたものらしく（所報青年の家 No.100 記念特集号 S53.1.5 より）、年齢にすると43歳になります。天童に開所してから今年で53年が経過し、時代を感じる一幕となりました。



消防訓練を行いました

■ 6月22日（月）に地震発生後の出火を想定した消防訓練が行われました。青年の家職員と管理企業体職員が協力して通報・避難誘導を行い、一連の防災体制の流れを確認しました。その後、天童市消防本部の指導のもと、水消火器を用いた初期消火訓練を実施しました。最後に、消防署員の方から火元箇所の戸閉について、御指導をいただきました。今後は利用者がいる状況でも、迅速な行動が取れるように対応していきたいと思ひます。



あの頃の“青年”は？

■ 10年毎に本所の所報を振り返り、当時の様子に思いを馳せてみたいと思ひます。今回は10年前の2010（平成22）年の所報（山青の風）を振り返ります。

① 指定管理制度スタート

この年から青年の家は指定管理制度を導入し、(株)山形ビルサービス、(株)天童給食センター、(株)野川ガス住宅設備が管理・運営・営繕に携わることになりました。現在に至るまで本所の活動を支えています。

② 「夏の体験ボランティア」スタート

今年は中止になってしまった「夏の体験ボランティア」がこの年から始まりました。平成22年以降に中学・高校生だった方は、きっと夏休みにボランティアを体験されたのではないのでしょうか？



6・7月の利用団体

【日帰り利用】

- ・KBC (バドミントン)
- ・けやきJ.V.C (バレーボール)
- ・西崎クラブ (バレーボール)

- ・Kバド (バドミントン)
- ・バスケットボールスクール ハーツ
- ・WBC (バドミントン)
- ・TOP (バドミントン)
- ・天童高校バドミントン部
- ・ローターアクト
- ・S・フリー (バスケットボール)

- ・山形県青年の家 「ボランティア関係者研修会」

